

次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	高座設置などのために浪切側との舞台配置の打ち合わせが必要でした。
引継ぎ 1	十分な時間的余裕をもって事前準備やリハーサルをするようにしてください。また、舞台の設営について浪切ホール側ともよく打ち合わせしてください。
問題点 2	予約や見積書依頼の際に浪切ホール側から分かりにくいとの苦情がありました。
引継ぎ 2	きちんと前もって直接面談して内容を説明してください。特に、浪切ホール側には当青年会議所の組織体制が分かりにくいことを念頭において、誰が窓口になるのかや支払時期が審議可決後になることを分かりやすく伝えてください。
問題点 3	質疑応答の際、同じ人（一般参加者）が何度も質問していたので、質問できない人がいました。
引継ぎ 3	状況を見ながらですが、簡潔に一人一つとしていただくなど、対応を検討してください。
問題点 4	<p>SNS 告知文が審議対象とされているため、LOM の SNS での告知や SNS 広告がワンパターンとなってしまいました。</p> <p>※2022年10月正副理事長会議にて、次の点が決定されました。</p> <p>① 機動的な告をするため「SNS 告知文」は審議対象資料ではなく、「広報計画」という参考資料とし、SNS 投稿の回数や手法の概要を検討する。</p> <p>② SNS や HP へのアップは総務広報委員会に一本化して行うが、総務広報委員会に丸投げするのではなく各委員会が文案や画像データ等を用意する。</p> <p>③ 問題のある表現などが無い総務広報委員会がチェックする。また、理事メンバーも SNS 等をきちんとフォローして投稿を確認し、チェックする。</p>
引継ぎ 4	<p>実際に SNS で告知する場面をイメージして、何パターンか（例えば、「あと10日!」、「締切迫る!」など）を用意して、段階的に告知をできるようにしてください。</p> <p>また、チラシの画像データ以外にも、SNS で段階的にアップできるようにいろんな画像やテキストメッセージなども検討してください。</p> <p>動画形式にすることやインスタグラムのリールを活用することも検討してください。</p>
問題点 5	青経塾において、毎度の課題である動員については様々な手段や工夫を用いて繋げてください。
引継ぎ 5	メンバーの口コミや SNS では限界があるので、別の事業の際にきちんとチラシ配布して呼びかけできるように準備するほか、互礼会に参加いただいている各種団体や地域の団体等へのチラシ配布など、しっかり動員計画を検討してください。
問題点 6	QR コードを読み込んでもらう形式でのアンケートを実施しましたが、回収率はあまりよくありませんでした。
引継ぎ 6	アンケート回収率の上昇のための工夫を検討してください。
問題点 7	講師が近隣で有料の講演をすることや、ファン層がやや本事業の対象者からやや外れることから、講師自身に告知を依頼しなかったため、講師についているファンは、あまり来なかった。
引継ぎ 7	講師自身にも告知を依頼した方が動員自体は増えると思われるので、講師が近くで有料講演を行っている場合や講師のファン層と事業対象者がずれる場合などには、講師から告知をしてもらうとすればどのような告知がよいのか、あるいは講師から告知してもらわないとすれば LO

	Mとしてどうこう広報をしていくのか、をきちんと精査するようにしてください。
【予算面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	浪切ホール側で仮予約の期限などを厳しく言われることがあります。
引継ぎ 1	支払時期について浪切ホールとよく打ち合わせをしてください。仮予約の関係上、早めに支払いをしなければならないようであれば、部分審議を求めることも検討してください。
問題点 2	一部、振込手数料を計上していませんでした。
引継ぎ 2	今回、たまさんの振込先は確認していましたが、チラシデザイン代の支払方法は確認していませんでした。
問題点 3	
引継ぎ 3	